

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月29日更新

事務事業名		消防施設設置事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務部	課長名	中島 正剛
	施策	1	危機管理・防災対策の推進			所属課	総務課	担当者名	田代 純児
	基本事業	1	災害の未然防止対策			所属班	交通防災班	(内線)	1215
予算科目	会計一般	款9	項1	目3	事業連番10010	法令根拠	消防法付要綱	合志市消防施設整備費補助金交	成果優先度評価結果 : ⑤ コスト削減優先度評価結果 : ②
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	・消防法による消防水利が不足している地域に対し防火水槽並びに消火栓の設置を行う。また、設置については水道事業並びに開発行為において設置指示を行う方法も採用している。また、地区が設置した消防施設について、補助金を交付している。昭和39年消防法で消防水利基準が定められ、同時期に旧町においても対応を行ってきた。5年前と比べ団地造成が頻繁に進み住宅が増加傾向にある防火水槽設置のための用地確保が困難になりつつある。 ・消防小型動力ポンプ積載車整備計画より、登録日から概ね20年経過した車について更新している。 ・小型動力ポンプ整備計画より、購入より概ね20年をめどに更新している。
【業務の流れ】	・防火水槽：計画、設計、工事指示管理、検査、支払い ・消火栓：水道業務と連携した計画、完了後の検査、支払い ・開発業者の設置：業者への指示、検査、補助金の交付支払事務 ・積載車：入札、納車検査、支払い ・小型ポンプ：入札、納入検査、支払い
【主な予算費目】	・工事請負費 備品購入費 負担金補助及び交付金 施設修繕費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
・防火水槽(40t) 1箇所設置した。水道新設工事に併せ消火栓を設置した。開発協議において防火水槽又は消火栓の設置の指導を行った。消防施設の整備を行なった区について、補助金を交付した。消防小型ポンプ積載車を2台購入した。	・水道事業に併せ消火栓を設置する。・開発協議において防火水槽または消火栓の設置の指導を行う。・消防施設の整備を行なった区について、補助金を交付する。・積載車を2台購入する。・小型ポンプを2台購入する。	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア:防火水槽設置数	箇所	・防火水槽新設工事の減
イ:消火栓設置数	箇所	・小型ポンプ(備品購入費)の増
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・消防水利		(単位)
		→ ア:消防水利数
		イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・未整備地区に設置する。		(単位)
		→ ア:前年度より増加した消防水利数
		イ:
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
・消防水利数の増加により、火災時の消火活動が早まる。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
①活動指標	ア	箇所	1	1	1	5	1	1	1	1	
	イ	箇所	0	0	2	5	0	0	0	0	
②対象指標	ア	箇所	797	802	805	809	810	0	0	0	
	イ										
③成果指標	ア	箇所	13	6	7	7	7	0	0	0	
	イ										
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円			10,400					
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円		24,554	7,947	18,880	15,868	15,000	15,000	15,000
		(A)のうち指定経費	千円	0	24,554	18,347	18,880	15,868	15,000	15,000	15,000
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	4,000	4,000	3,988	4,000	4,000	4,000	4,000
	人件費	正規職員従事人数	人	0	4	5	4	4	4	4	4
		延べ業務時間	時間	0	180	190	180	180	180	180	180
(B)人件費計		千円	0	741	782	726	741	741	741	741	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	25,295	19,129	19,606	16,609	15,741	15,741	15,741	

事務事業名	消防施設設置事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ・防災計画書にある「消防施設強化促進計画」に基づき進めており、消防水利の未整備地区に、計画的に水利を設置していくことで、向上の余地がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ・類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・消防水利については、計画に基づき事業を進めており、削減の余地はない。 ・消防積載車及び小型ポンプの更新時期を迎えており削減の余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・整備については知識を必要とするため委託等はできないので削減余地はない
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ・消防水利は市全域にわたり、未整備地区を整備していくもので、公平である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						